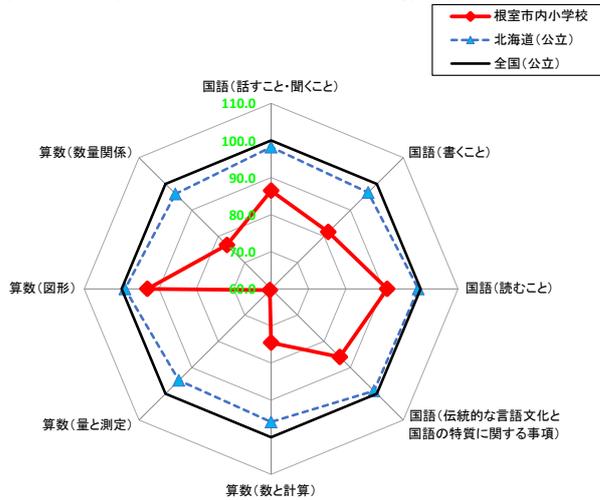


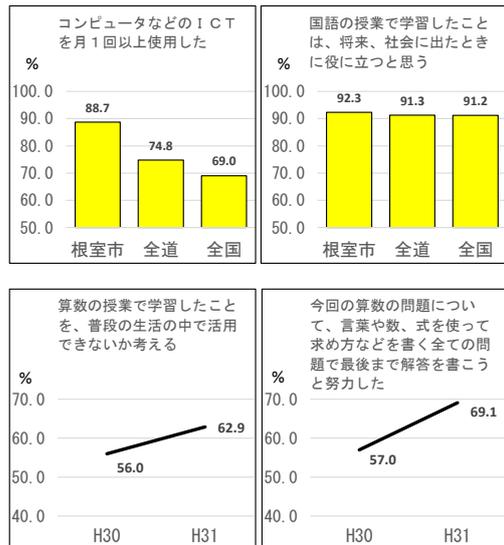
■根室市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、児童数:194人)

【教科全体の状況】

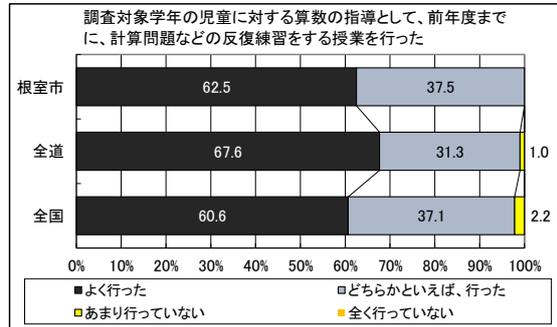
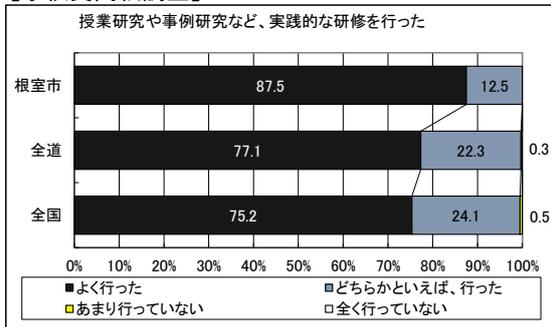
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	児童質問紙	学校質問紙
国語	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。
算数	○ 「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTを月1回以上使用した」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、前年度より増加している。 ○ 「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が、前年度より増加している。	○ 「調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。
国語	○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行ったことにより、コンピュータなどのICTを活用する等の授業改善が図られ、国語の「読むこと」、算数の「図形」において、全国に最も近くなつたと考えられる。 ○ 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行ったことにより、基礎的・基本的な内容の定着が図られ、算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えたり、算数の全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したりする児童が増加したと考えられる。	

【根室市の学力向上策】

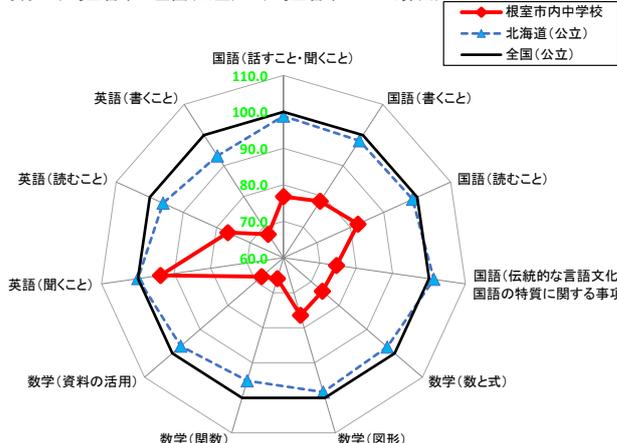
- ◎ 教員の授業力向上を目的とした、講師を招聘した模擬授業の実施や先進的な取組を行っている地域への教員の派遣
- ◎ 全国学力・学習状況調査や標準学力検査の結果分析に基づいた授業改善の推進
- ◎ 市独自の「学力向上等補助教員」を活用した個に応じた指導の推進
- ◎ 「生活リズムチェックシート」を活用した望ましい生活習慣や学習習慣の確立に向けた取組の充実

■根室市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、生徒数:193人)

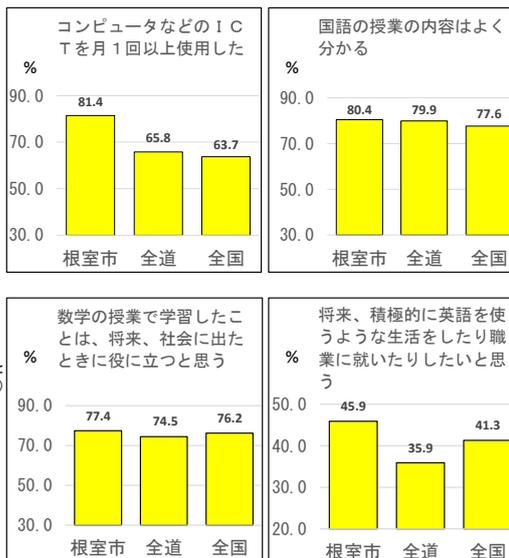
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

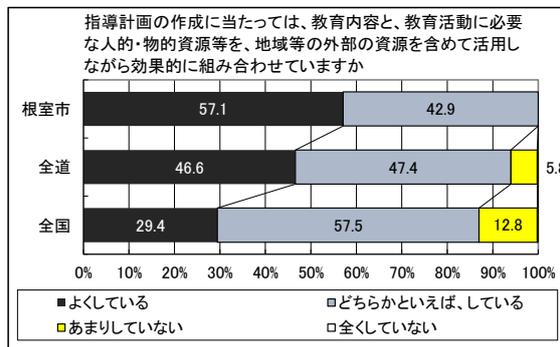
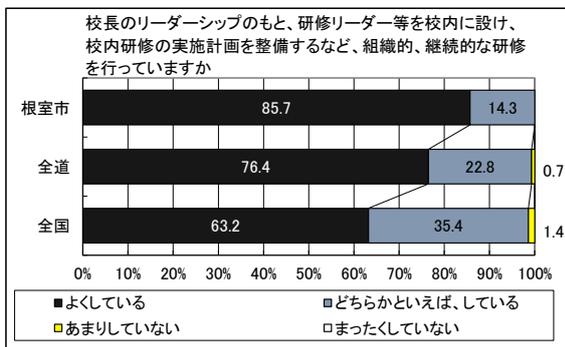
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行ったことにより、ICTを使用する等の授業改善が図られ、生徒は、国語の授業の内容がよく分かるようになり、英語に興味関心をもったりするようになり、英語の「聞くこと」において、全国に最も近付いたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTを月1回以上使用した」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導計画の作成に当たり、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせたことにより、生徒は、数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つようになると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

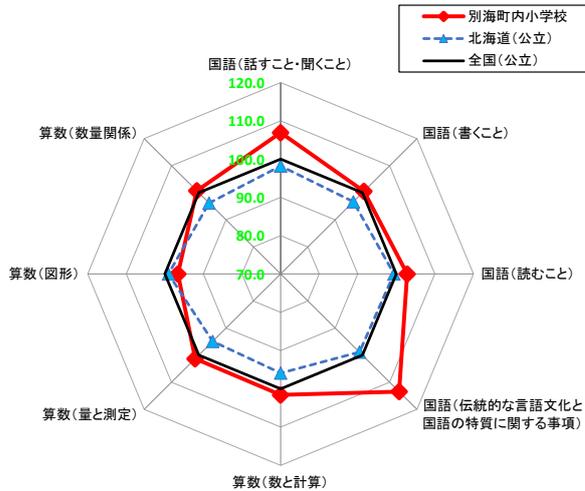
【根室市の学力向上策】

- ◎ 教員の授業力向上を目的とした、講師を招聘した模擬授業の実施や先進的な取組を行っている地域への教員の派遣
- ◎ 全国学力・学習状況調査や標準学力検査の結果分析に基づいた授業改善の推進
- ◎ 市独自の「学力向上等補助教員」を活用した個に応じた指導の推進
- ◎ 「生活リズムチェックシート」を活用した望ましい生活習慣や学習習慣の確立に向けた取組の充実

■別海町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、児童数:135人)

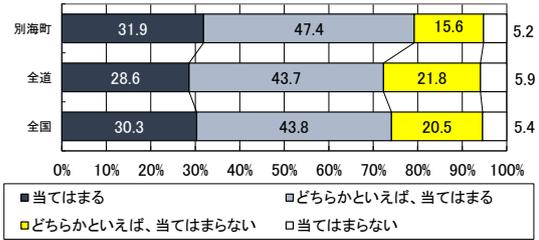
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

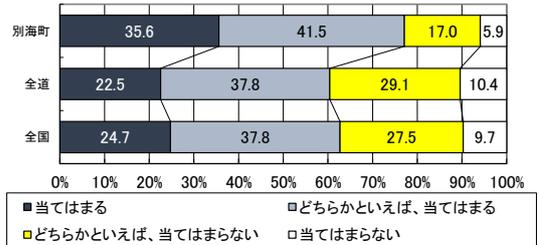


【児童質問紙調査】

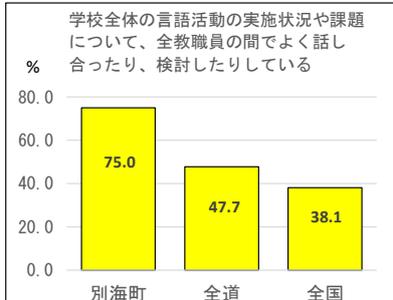
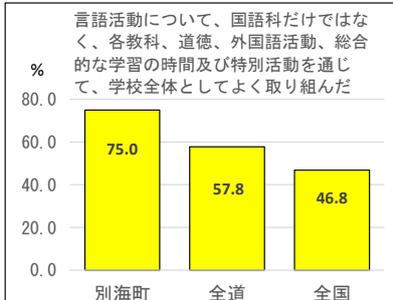
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、全ての領域において、全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校において、授業研究や事例研究など、実践的な研修を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の全領域、算数の「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組むとともに、学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行っている」と回答している。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国を及び全道を上回っている。 ○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間でよく話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

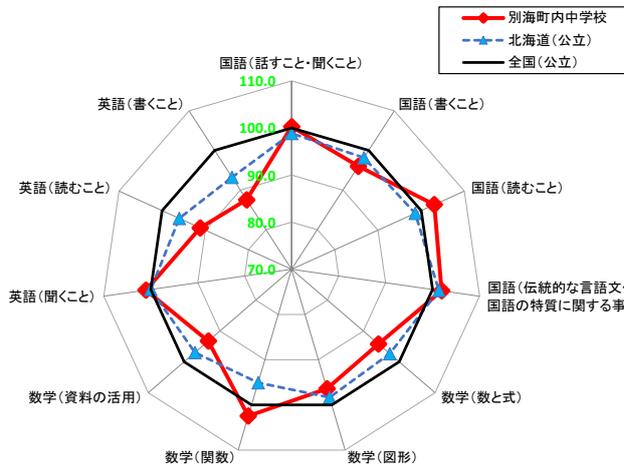
【別海町の学力向上策】

- ◎ 教師力の向上、学力向上を目的とした「生き抜くカアッププロジェクト事業」の推進
- ◎ 児童の読解力等の向上を目的とした「別海町子どもの読書活動推進計画」の推進
- ◎ 地域との連携による学校運営を目指した全ての中学校区におけるコミュニティ・スクールの導入
- ◎ 特別支援教育に関する教員の専門性の向上を目的とした研修の推進

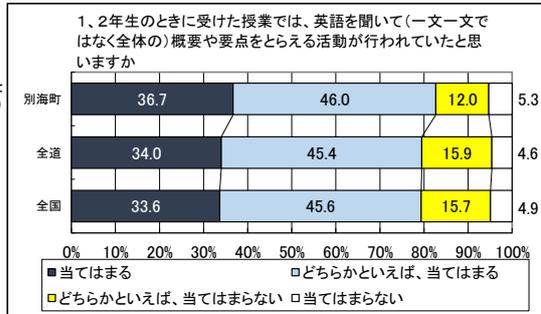
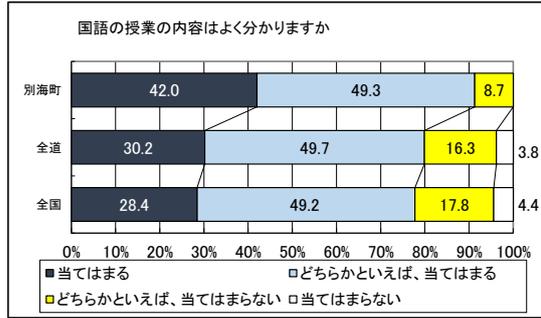
■別海町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、生徒数:150人)

【教科全体の状況】

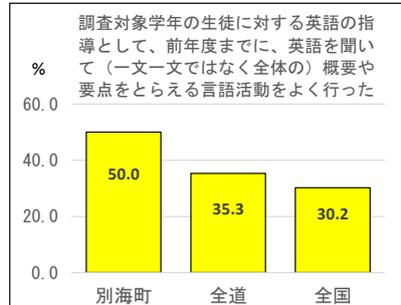
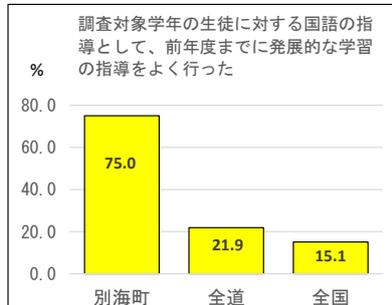
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「関数」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業や発展的な学習の指導をよく行ったことにより、生徒は国語の授業の内容がよく分かるようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動をよく行うなどの授業改善を図ったことにより、英語の「聞くこと」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った」と回答している。 ○ 「調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導をよく行った」と回答した学校が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動をよく行った」と回答した学校が、全国及び全道を上回っている。 	

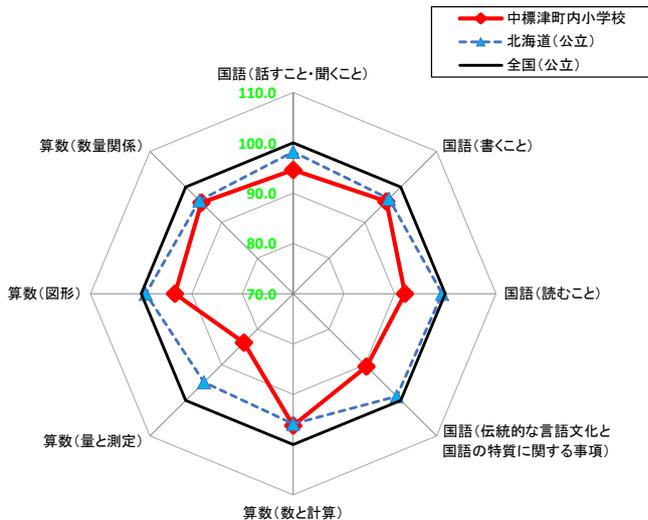
【別海町の学力向上策】

- ◎ 教師力の向上、学力向上を目的とした「生き抜くカアアッププロジェクト事業」の推進
- ◎ 生徒の読解力等の向上を目的とした「別海町子どもの読書活動推進計画」の推進
- ◎ 地域との連携による学校運営を目指した全ての中学校区におけるコミュニティ・スクールの導入
- ◎ 特別支援教育に関する教員の専門性の向上を目的とした研修の推進

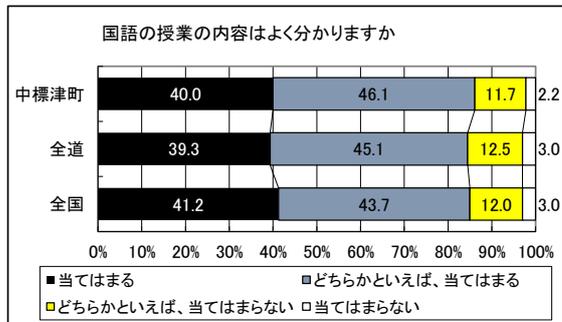
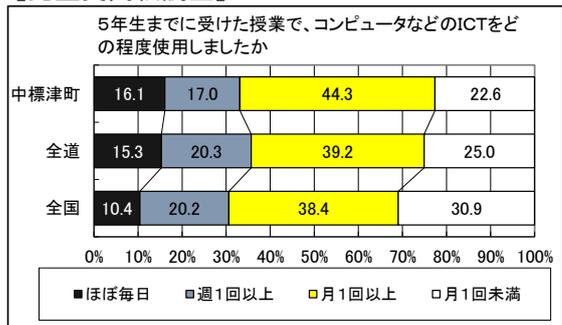
■中標津町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:230人)

【教科全体の状況】

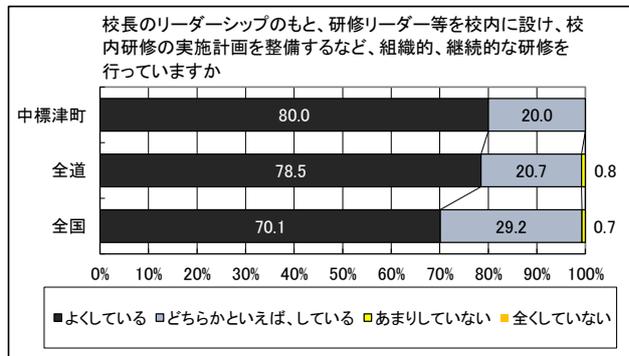
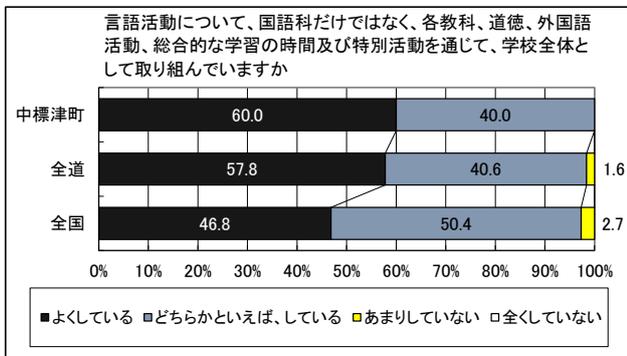
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「数と計算」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、組織的、継続的な研修を行ったことにより、コンピュータなどのICTを活用する等の授業改善が図られ、国語の「書くこと」及び算数の「数と計算」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTを月1回以上使用した」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる・どちらかといえば、よく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、児童が国語の授業の内容をよく分かるようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を作成するなど、組織的、継続的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

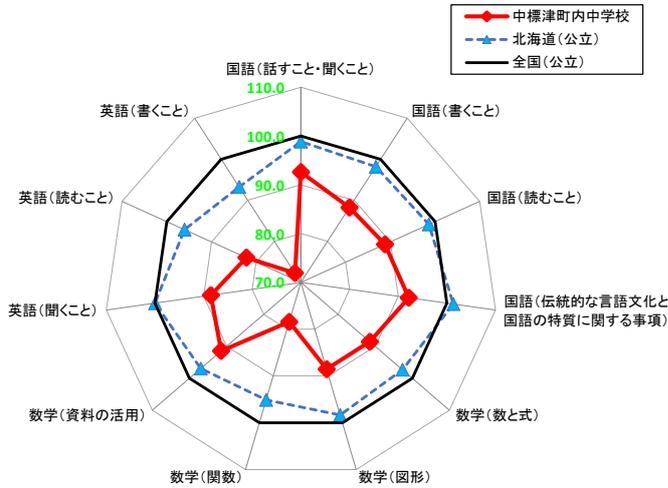
【中標津町の学力向上策】

- ◎ 町内全体での小中一貫教育に向けた取組の推進
- ◎ コミュニティ・スクール導入促進事業を活用した地域とともにある学校づくりの取組の推進
- ◎ 全国学力・学習状況調査等の結果分析に基づく学校改善プランの徹底
- ◎ 学力向上の支援のための町独自の学習サポート教員や学生ボランティア等の配置
- ◎ 学校・家庭・地域の連携による学習習慣・生活習慣の確立

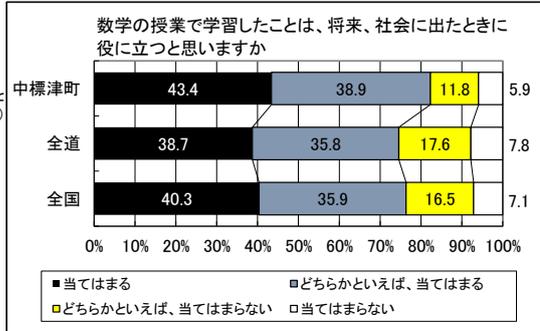
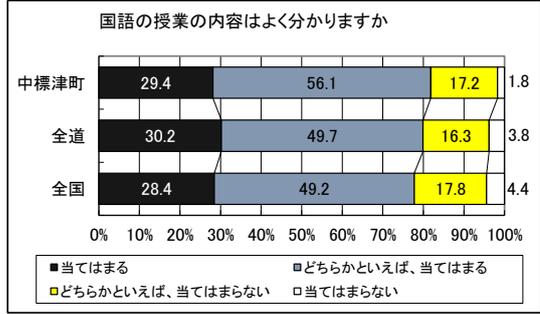
■中標津町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:221人)

【教科全体の状況】

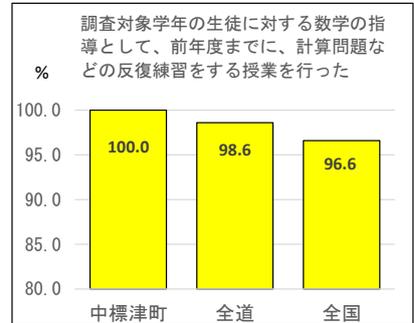
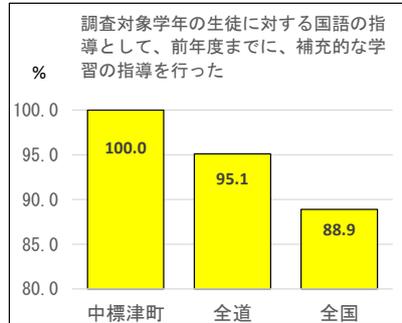
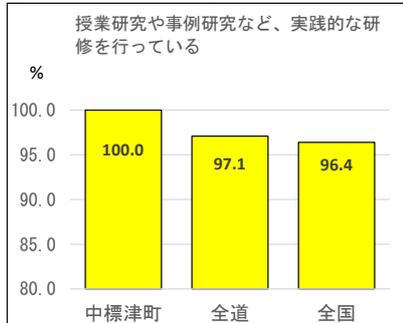
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、生徒は国語の勉強がよく分かるようになり、国語の「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行ったことにより、生徒は数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うようになり、数学の「資料の活用」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「国語の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答している。 	

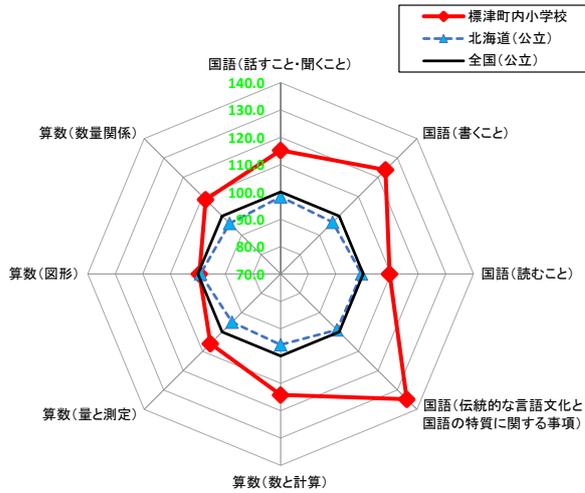
【中標津町の学力向上策】

- ◎ 町内全体での小中一貫教育に向けた取組の推進
- ◎ コミュニティ・スクール導入促進事業を活用した地域とともにある学校づくりの取組の推進
- ◎ 全国学力・学習状況調査等の結果分析に基づく学校改善プランの徹底
- ◎ 学力向上の支援のための町独自の学習サポート教員や学生ボランティア等の配置
- ◎ 学校・家庭・地域の連携による学習習慣・生活習慣の確立

■ 標津町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:38人)

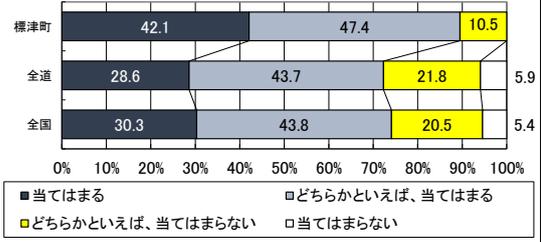
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

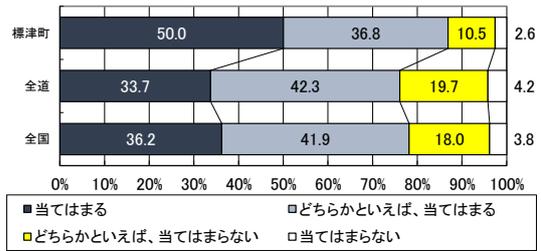


【児童質問紙調査】

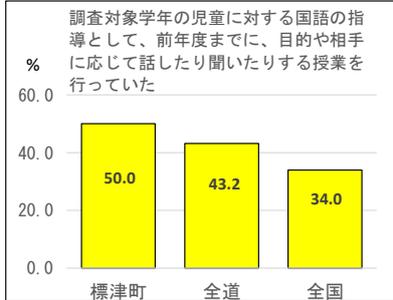
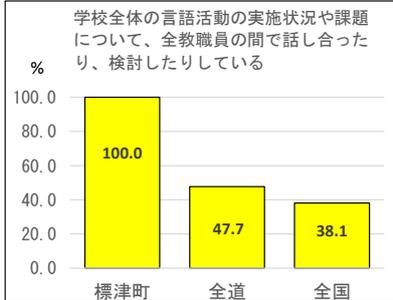
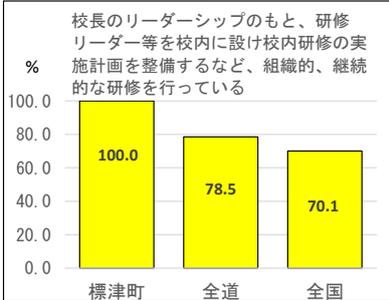
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、全ての領域において、全国を上回っている。 ○ 算数では、全ての領域において、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校において、校長のリーダーシップのもと、組織的、継続的な研修を行ったことにより、授業改善が図られ、国語及び算数の全領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりするとともに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする国語科の授業を積み重ねたことにより、国語科の授業において、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりする児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている」と回答している。 ○ 全ての学校が、「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答している。 ○ 「調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【標津町の学力向上策】

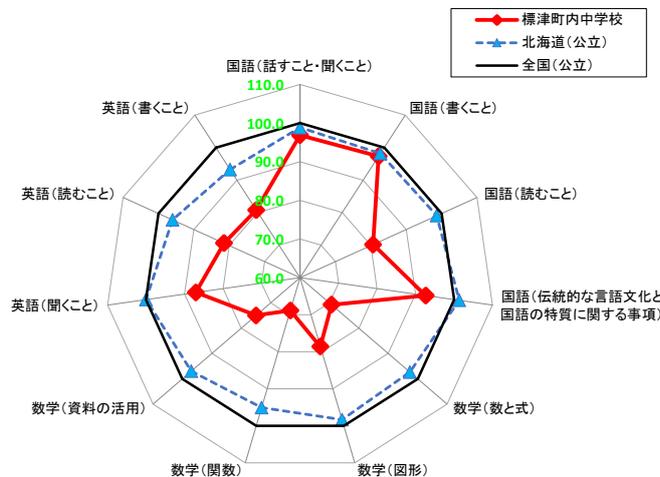
- ◎ 主体的に学ぶ子どもの育成を目指した「標津型学習スタイル」(問題解決型学習)に基づく授業づくりの推進
- ◎ 秋田県への視察等、教師の指導力向上を目指した研修の充実
- ◎ 子どもの学習意欲の向上に向けた実物投影機やタブレット、デジタル教科書等を活用したICT教育の推進
- ◎ 園小中一貫連携教育の推進

■ 標津町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:51人)

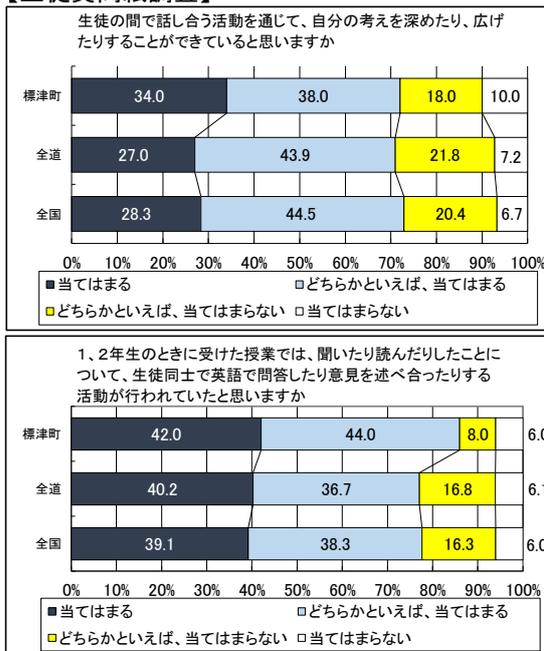
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

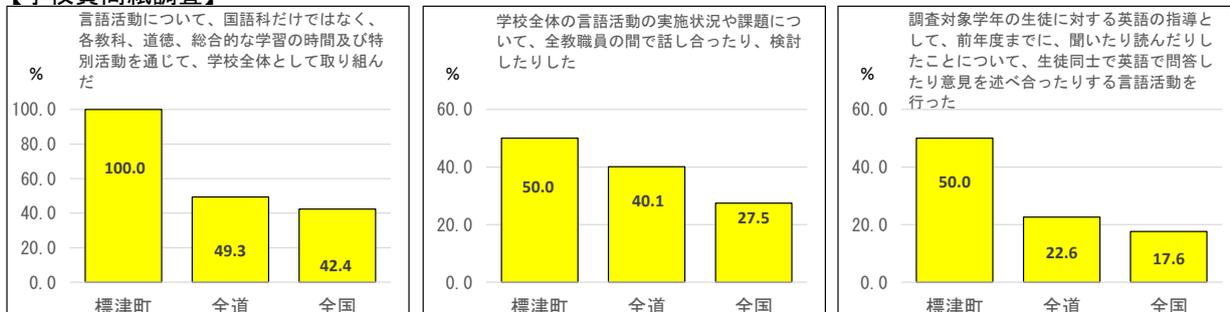
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話しあったり検討したりするとともに、言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んだことにより、国語の「書くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることがよくできている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行ったことにより、生徒が話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答している。 ○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行った」と回答した学校が、全国及び全道を上回っている。 	

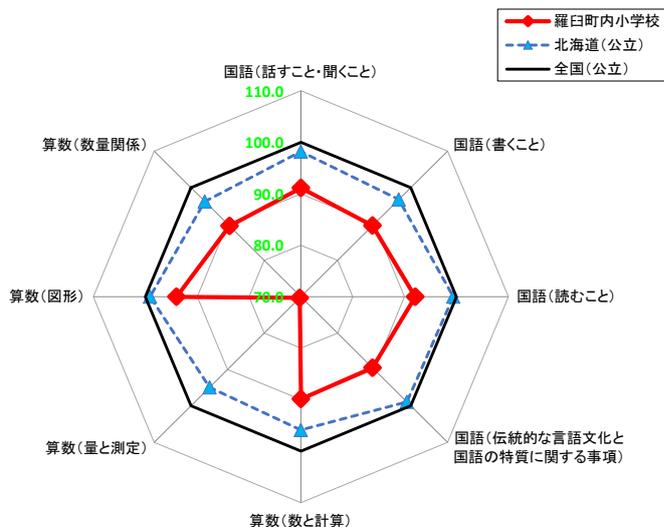
【標津町の学力向上策】

- ◎ 主体的に学ぶ子どもの育成を目指した「標津型学習スタイル」(問題解決型学習)に基づく授業づくりの推進
- ◎ 富山県への視察等、教師の指導力向上を目指した研修の充実
- ◎ 子どもの学習意欲の向上に向けた実物投影機やタブレット、デジタル教科書等を活用したICT教育の推進
- ◎ 園小中一貫連携教育の推進

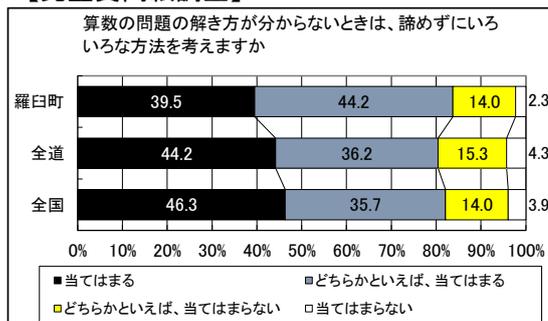
■羅臼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:43人)

【教科全体の状況】

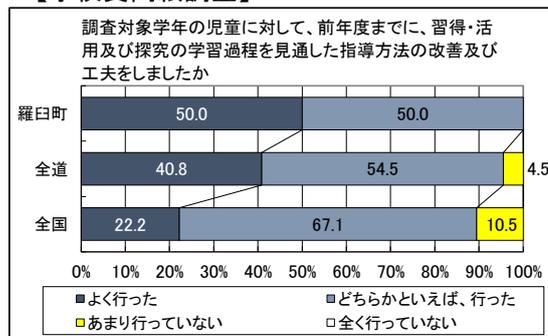
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



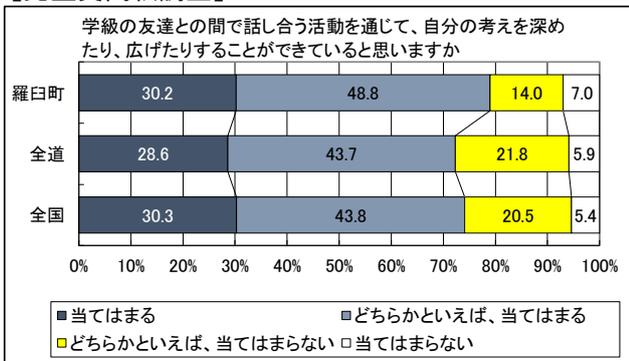
【児童質問紙調査】



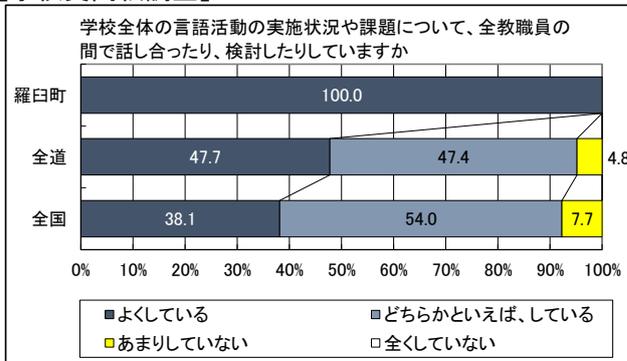
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、児童が算数の問題の解き方が分からないときでも諦めずにいろいろな方法を考えるようになり、算数の「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動の実施状況について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、児童は友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動の実施状況について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

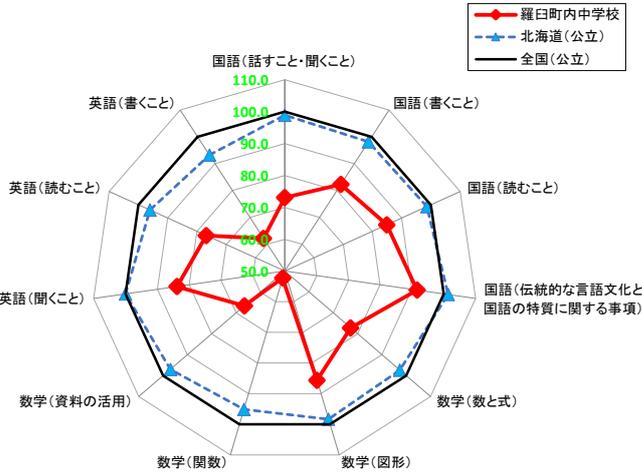
【羅臼町の学力向上策】

- ◎ 学力向上やキャリア教育、ふるさと教育等を重点とした幼小中高一貫教育の推進
- ◎ 保護者や地域住民の協力による「土曜授業」の推進
- ◎ 北海道立教育研究所等と連携した教職員の資質・能力の向上を目的とした研修の実施
- ◎ 大学生等を活用した学習支援事業の推進
- ◎ 「幼小中高一貫教育研究会」作成の手引を活用した生活習慣、学習習慣の確立

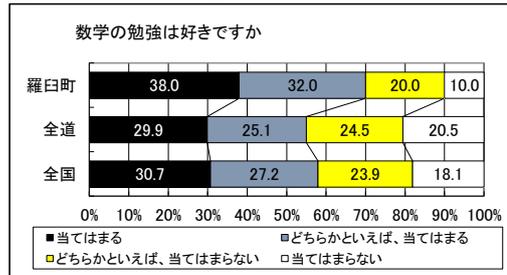
■ 羅臼町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:50人)

【教科全体の状況】

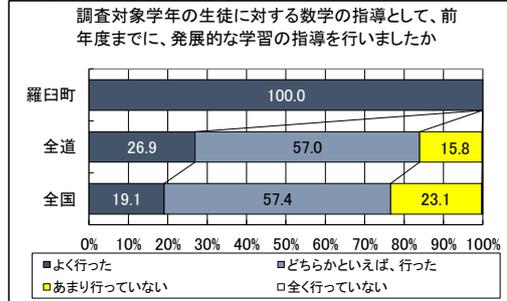
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



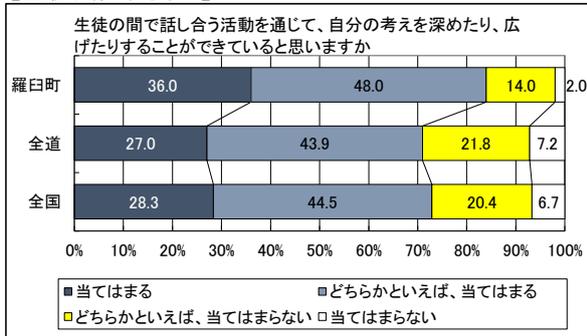
【生徒質問紙調査】



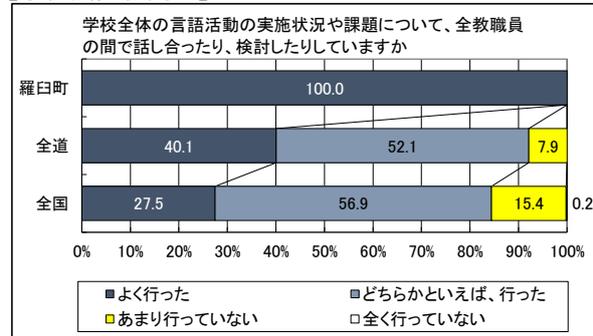
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、発展的な学習の指導を行ったことにより、生徒が数学の授業が好きになり、数学の「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、授業改善が図られ、生徒が話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「数学の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりした」と回答している。 	

【羅臼町の学力向上策】

- ◎ 学力向上やキャリア教育、ふるさと教育等を重点とした幼小中高一貫教育の推進
- ◎ 保護者や地域住民の協力による「土曜授業」の推進
- ◎ 北海道立教育研究所等と連携した教職員の資質・能力の向上を目的とした研修の実施
- ◎ 「幼小中高一貫教育研究会」作成の手引を活用した生活習慣、学習習慣の確立

